

単元名 6 いにしえの心を受け継ぐ ―君待つと ―万葉・古今・新古今 配当時間 2時間

単元の目標 (1) 三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像することができる。  
(2) 心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもつことができる。  
(3) 進んで和歌の表現の仕方について評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとする。

### 標準的な展開例

12210214\_001

【準備等】国語指導CD、再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 和歌の世界を読み味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の見通しをもつ。</li> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★和歌を読み、和歌の世界を味わおう。</li> <li>○朗読し、言葉の響きやリズムを楽しむ。</li> <li>○和歌の中に歌い込まれている作者の心情や情景を想像し用いられている表現技法について知る。</li> <li>○三つの和歌集の歌を比較して、表現について感じたことなどを話し合う。</li> </ul> <p>2 心に響いた和歌について鑑賞文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★心に響いた和歌について、鑑賞文を書こう。</li> <li>○自分の心に響いた歌を選び、鑑賞文を書く。</li> <li>○学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの和歌から、どのようなことを想像したか。</li> <li>・どのような表現や内容に着目して鑑賞したか。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもたせる。</li> <li>・教師が範読するか、国語指導CDを利用して聞かせることで、句切れや仮名遣い、古語の読みについて確認させる。</li> <li>・脚注を参考に、長歌や反歌など和歌の形式を味わわせる。</li> <li>・自分の選んだ和歌に用いられている表現技法に気付かせ、グループで共有させる。</li> <li>・「和歌の表現技法」(p. 153)を読み、他の表現技法についても興味をもたせる。</li> <li>【評】作者の心情や情景を考える活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・それぞれの歌集の歌風についても理解させる</li> <li>【評】三つの歌集の歌を比較する活動を通して「知識・技能」を評価する。</li> <li>・学習した短歌の中から数首選び、鑑賞文を書かせる。</li> <li>・脚注などを参考にしながら心情や情景を考えさせる。</li> <li>・鑑賞文の書き方のポイントを示すとよい。</li> <li>【評】好きな歌を選び、鑑賞文を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

### 【 備 考 】

古典を学習するということは、古典の文章や内容を読んだり知ったりするだけでなく、そこから今の生活を刺激し、豊かにすることである。心情や情景を想像して楽しむ活動を多く取り入れることで、より身近に古典を感じさせるとともに、その時代に生きた人々と心を通わす単位としたい。朗読や暗唱の機会を多く設けることで読み慣れるだけでなく、独特のリズム感も捉えさせたい。また、情景やその思いを捉えることで、古人のメッセージから自己を見つめ直すこともできる。